



第 16 号

(2021年3月1日 発行)

安城保護区保護司会
発行責任者 石川 誠

編集 安城市社会福祉課内
安城保護区保護司会
総務部会

新しい生活様式のもとでの保護司会活動

保護司会 会長 石川 誠



昨年からの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、安城保護区の保護司会活動も大きく様変わりしております。そして、この感染症の長期化に伴い「新しい生活様式のもとでの保護司会活動」を模索している現況では、保護観察対象者等の面接や安城保護区の諸活動に変化がみられます。しかし、このような状況の中ではありますが、保護司のみなさんや名古屋保護観察所などの関係組織・機関との絆を一層深めて保護司活動を行う良い機会と思われます。

特に、「再犯の防止等の推進に関する法律」の

施行に伴い、犯罪のない、明るい社会の構築が求められています。各層からの更生保護に対する一層のご理解・ご協力を得るため、更生保護女性会様、BBS会様、協力雇用主会様等関係の皆様と共に地域社会との連携を重視した「社会を明るくする運動」を効果的に実施していきたいと考えています。

これまで安城保護区の会長を務めてまいりましたが、あわせて本年度5月からは、愛知県保護司会連合会会長、中部地方保護司連盟会長に就任することとなり、皆様から与えられた使命として感謝し、初心に戻り身を引き締めて更生保護活動に努めてまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。

明るい社会を目指して

安城市更生保護女性会 会長 船尾 恭代



日頃から保護司会の皆様には、格別のご理解とご協力をいただき厚く感謝申し上げます。

私は、令和2年4月から安城市更生保護女性会の会長

を拝命いたしました。思いがけないことでしたし、新型コロナウイルスが全国的に広がり新しい生活様式を常に意識していなければならぬ状況など、いろいろな意味で戸惑いがありました。

これまで子育て支援活動として続けてきたマスコット1300個は、保育課を通して9つの幼稚園・保育園に贈呈いたしました。コロナ禍の中、直

接は渡せず子ども達の喜ぶ様子を見ることができず残念でしたが、マスコット作りは、月2回広い部屋で感染症対策をしっかりと行い活動しています。

当面は、今できる範囲で活動するしかありませんが、会員の皆様の力を合わせて楽しく進めていきたいと考えています。

「犯罪を防ぐことは社会を保護すること」という更生保護の心を広め、一人ひとりが人として尊重され心豊かに生きられる明るい社会を目指し、次代を担う青少年の健全な育成に努め、自己研鑽に励みたいと思っています。これからも変わらぬご支援をよろしくお願ひいたします。

第70回社会を明るくする運動 with コロナ

犯罪予防部 部会長 服部 和光

令和2年度の「社会を明るくする運動」は、新型コロナウイルス感染予防の観点から市推進委員会は書面で開催、街頭啓発活動、ミニ集会は実施できませんでした。また、標語作文コンテストは、作文コンテストのみを開催、入賞者表彰式は各学校に出向き校長室で行いました。

毎年、安城七夕まつりに協賛し、これまで実施していました夏祭り巡視活動(七夕巡回パトロール)も中止となり「withコロナ」の我慢の一年となりました。

その中で啓発物品の配布による広報活動は、関係機関の協力により一部実施することができました。



協力校感謝状贈呈(安祥中学校)



作文コンテスト表彰式(桜林小学校)



市民芸能まつり啓発活動(市民会館)

啓発作文入賞作品(安城市作文コンテスト)

作文の部

最優秀賞

「挨拶は世界を変える」
「あたたかい社会を目指して」

武田悠人(安城西中学校3年)
長谷部偉史(桜林小学校6年)

優秀賞

「“かかわり”をもつこと」
「がんばれば直せる社会へ」

鈴木琉斗(桜井小学校6年)
間定優和(桜林小学校5年)

入選

「動画を見て思ったこと、実際にあったこと」
「犯罪にかかわらないようにするために」

加藤瑠華(高棚小学校6年)
中根彩花(高棚小学校6年)

(敬称略)

着任のごあいさつ -よろしくお願いします-

名古屋保護観察所 保護観察官 岩田 高明



令和2年度から安城保護区の担当となりました。私は豊田市の出身ですが、今まで青年海外協力隊として2年間、南米ボリビアで海外生活をしていました。それ以外はここ愛知県で生活しており、

現在も出身地の豊田市に住んでいます。同じ三河人として、お仲間に入れていただければと思います。

平素は、保護観察事件をはじめ、更生保護にご協力をいただきまして、ありがとうございます。

さて全国的に見て、保護観察事件・生活環境調

整事件共に減少傾向であり、ここ安城保護区も同様に、過去数年振り返りますとゆるやかに減少傾向にあります。その中にあって精神的な問題を抱える人、就職や就労の継続が困難な人、違法薬物の使用を繰り返す人、アルコール依存の問題を抱えている人など、大きな問題を抱えている人が多く、処遇が難しくなっている印象を受けます。

昨今、コロナ禍の下で、あまり明るい話題もない世の中ではありますが、今後とも保護司の皆様とは「協働体制」のもとに、一人でも多くの保護観察対象者を更生に導くよう、共に頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

保護司の横顔(地域貢献活動の紹介)

夏休みラジオ体操の指導員として活躍中

明祥中学校区 保護司 早川 守

今年度の夏休みは、新型コロナの影響で随分短期間となっていました。安城市南部地区の和泉町では、それぞれの地域でラジオ体操を行っています。

12番組と13番組は、合同で和泉グラウンドの広場において、朝6時30分のNHKの放送にあわせて、親子でラジオ体操会を行っています。

私は、現在12番組組長と保護司を拝命しておりますが、ラジオ体操の講師・指導員としても活動しています。

ちなみに、「ラジオ体操幹部指導者」の資格は、若い頃に勤め先の郵政関係部署がラジオ体操の担当であつたことから取得し、こうした機会に貢献できたらと思い、活動をしております。

しかし、若い頃と比べますと、今では身体が硬くなつており、決して美しい体操とは、ほど遠い演技となつて

おります。

これからも健康のため、できるだけ継続していくよう思っています。

皆様も、地域のラジオ体操会に参加してみませんか。



ラジオ体操(和泉グラウンド)

かけがえのない宝物

東山中学校区 保護司 鈴木 和枝

私は、保護司として青少年健全育成会に関わり地域の小・中学校の先生方と知り合う機会を得ました。

その縁から陶芸家をしていた主人に小学校から「児童に陶芸を教えてくれないか」と声がかかり陶芸教室を始めることになりました。

工房は、学校の近くにあるため先生に引率された子ども達で賑わいました。どの子も個性的な作品に挑戦し制作を楽しみ学年の壁を超えて絆を深めました。私は、早く終わった子ども達に煎茶の飲み方など簡単な作法を教えながら教室のお手伝いをさせていただきました。

このやり取りを繰り返しているうちに、安城市に縁がある童話文学作家新美南吉に因んだ「牛をつないだ椿の木」をテーマに陶板画を作ることになり、先生や児童が協力し、畳一枚の大きな陶板画を制作しました。今

でもその陶板画を見ると子ども達一人ひとりの頑張り様が目に浮かんできます。

今は、陶芸は止めてしまいましたが私たちと陶芸に勤しんだ子ども達から大きな声で挨拶をしてくれることが夫婦にとってのかけがえのない宝物となっています。



みんなで作った陶板画(志貴小学校)

西三河保護司会長・支部長会議

副会長 後藤 喜久男

西三河保護司会長・支部長会議が令和2年11月5日(木)安城市役所で開催されました。

議題は、「保護司再任の上限年齢に係る特例規定の新設について」と「新任保護司の安定的確保について」の2点です。これらは、現在の社会環境や経済構造の変化を受け、都市部を中心に保護司適任者の確保に苦慮している実情を踏まえ、令和2年2月に全国保護司連盟と法務省保護局が共同して発した「保護司適任者確保のための緊急行動宣言」に基づく提言です。

保護司の活動は、保護観察や犯罪予防活動などを通じて安全・安心な地域づくりに多大な貢献を果たしていることから、将来にわたり更生保護制度を維持発展していくためには、保護司を安定的に確保することが喫緊の課題となっているためです。

今回の会議では、来賓として出席された原沢名古屋保護観察所所長から「再任の上限年齢に係る特例規定」の新設について、その背景や制度の概要について説明を受け、その後質疑と意見が交わされました。



西三河保護司会長・支部長会議



中部地方更生保護委員会委員長表彰
中部地方保護司連盟会長表彰
名古屋保護観察所長表彰
愛知県保護司会連合会長表彰
安城市一般功労者表彰 (安城市発展祭)

太田安彦 島田更司 竹尾香代子 後藤喜久男
稻垣正義 今原康徳 木村忠弘
梅村正一 塚本和彦 水野義孝 神谷豊治
早川 守 山口順子 石川正美 岩月隆夫
杉浦博之 内藤和光 山本康孝
杉浦貴己 須藤房美

(敬称略・順不同)

新任・退任保護司紹介(令和2年度)

(敬称略・順不同)

退任に寄せて

退任保護司の想い出

安城西中学校区 保護司 加藤 正紘



私は、平成16年5月に保護司になりました。当時は会社勤務をしており、先輩の皆さんには色々助けていただきました。

心に残る想い出として、当時、中学校区のミニ集会は特定の町内会で実施していましたが、「社会を明るくする運動」を周知するため関係者と相談し、学区内の5町内会を順番に廻ることに決めました。今年で8年目になります。各町内会での保護司への関心が深まったものと自負しています。

また、薬物乱用防止指導員、企画調整保護司を6年間勤めさせていただき、保護司活動が定年後の生きがいとして地域に貢献できたなら幸いです。

在職中は、皆様に大変お世話になりましたことに深く感謝します。

お疲れ様でした

野村信正 (安城北中学校区)・清水好史 (安城西中学校区)
木村勇二 (篠目中学校区)・島田更司 (安城南中学校区)
竹尾香代子 (安祥中学校区)

【編集後記】

昨年1月に、新型コロナウイルスの感染が中国から伝えられ、邦人の緊急帰国、突然の学校全国一斉休校に始まり、そして不要・不急の外出自粛と仕事や生活スタイルの変容を求められた一年でした。

保護司会活動への影響は多大で、総会は、書面表決、部会活動の殆どは自粛、開催した会議も三密を避けて大きな会場で開催するなど先の見通しのできない不安を抱えた年でした。一日も早い終息を願う昨今です。

新任に寄せて

新任保護司として

東山中学校区 保護司 鈴木 一



新任保護司として、今ではっきりと覚えていることが二つあります。一つ目は、5月にいただいた辞令「保護司を委嘱する」の文字がとても大きく、身が引き締まる思いをしたことです。二つ目は、初めての安城保護区の定例会で、多くの方から笑顔で声をかけていただいたことです。思い返してみると、在職中に職場や地域でたいへんお世話になった方々でした。何か、とても懐かしい所へ帰ってきた思いがして、うれしさがこみ上げてきました。

これからも新たな出会いを大切にして、人のお役に立てればと思います。

よろしくお願ひします



杉浦資典
(安城北中学校区)



大岡綾子
(明祥中学校区)



神谷智美
(篠目中学校区)



永田 博充
(安城南中学校区)



寺田 覚
(安祥中学校区)



事務局 安城市役所 社会福祉課社会福祉係
安城市桜町18番23号 TEL0566-71-2262